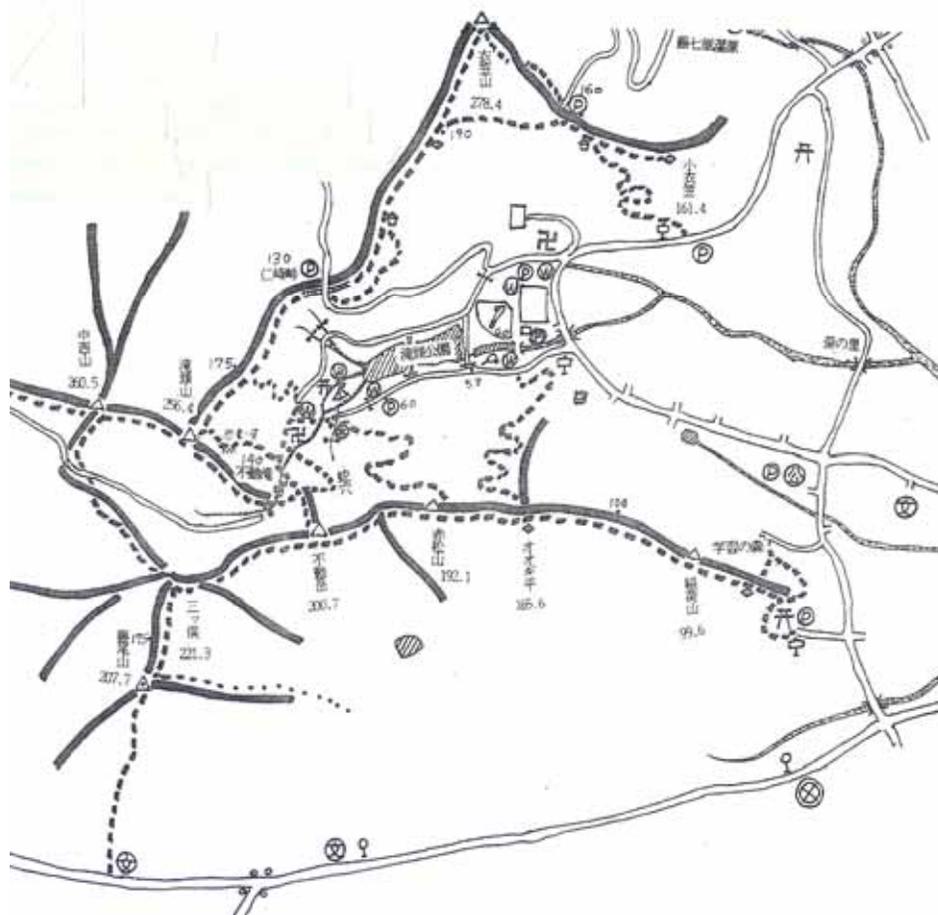


稲荷山周辺の自然歩道



* 1993年3月 たらめ会作成による「衣笠自然歩道」より一部抜粋して転載

自然保護憲章

- ・自然をとつとび、自然を愛し、自然に親しもう。
- ・自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしましょう。
- ・美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

昭和49年6月5日制定

2004年 定例自然観察会

稲荷山・滝頭公園の自然観察



シュレーゲルアオガエル

6月13日(第4回)

主催：NPO法人東三河自然観察会
後援：田原市・田原市教育委員会

少なくなったカエル



ニホンアカガエル

そして、魚と違って川岸など陸地も大切な生活空間、どちらが欠けても生きていけない生き物。つまり、水と陸の両方が必要な生き物。だから水辺環境の目印！

え！昔と同じようにたんぼも土手もあるじゃん！

そうですね。でも昔と今とで違うことは为什么呢？原因は一つだけではありませんが大きな要因になっています。それは、人工の護岸が多くなったこと。今でこそ近自然工法などと言われる工事が多くなってきましたが、まだまだカエルたちの望む環境ではありません。さらに、農業の変化も大きな要因です。つまり、作物の栽培サイクルや様式が変化したからです。昔ながらの湿田は機械化のさまたげになるので乾田化されました。そして、台風などの被害を最小限にしたり早稲品種による付加価値を高めるために田植えの時期が早くなったりしました。これらなどが複合して、カエルの生息環境を狭めてしまったのです。山では植林による保水能力の低下も原因しています。

カエルから見てくる自然環境の変化。注意したいものです。

両生類といわれ、水中と陸上で生活をする生き物！

みなさんには非常に馴染みの深い生き物ですね。

でも、最近少なくなってきたと思いませんか？

カエルは良好な水辺環境の目印！なぜなら、体を守る丈夫な皮膚を持たない生き物たちだから。



ニホンアマガエル



ダルマガエル

(カエルの写真(表紙を除く)は、山溪ハンディ図鑑9「日本のカエル」より転写)



トノサマガエル

6月といえば梅雨



コアジサイ

梅雨と言えばアジサイ(紫陽花)!!!

そうです。アジサイの季節です。

野にも、山にもアジサイの仲間がたくさん見られます。

そんな中でコアジサイとノリウツギが見られると思います。ヤマアジサイも見られるかも知れません。



ノリウツギ



ヤマアジサイ